



# 与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和5年度2月号

# 与路っ子 2

## 「奄美フトゥバの日」

校長 川井 功作

2月18日、皆さん何の日かご存知でしょうか。大島地区文化協会連絡協議会（大島支庁総務企画課）では、近年、衰退しつつある奄美の方言を保存・伝承していくことを目的として、平成19年から2月18日を大島地区の「方言の日」と定め広報啓発活動を行っています。奄美方言が未来へと受け継がれていくように、各市町村文化協会及び教育委員会の取組を支援しながら事業を推進しています。2（フ）10（トゥ）8（バ）の語呂合わせで2月18日となっています。

鹿児島県に属している奄美群島。離島であること、南国であるという理由から、沖縄県に属していると思われる方も多くいらっしゃいます。鹿児島県は有人離島数が26で、全国でも第2位を誇る有数の離島県です。（第1位は長崎県で73島）鹿児島は多くの離島を有し、おまけに南北に非常に長い県です。そのため一口に「方言」と言ってもエリアにより大いに異なります。奄美はその昔、琉球王国支配下に長く置かれた場所。そのため、琉球王国で用いられて言語・琉球方言のうち、沖縄本島と同じ「北琉球方言」を話す地域となります。一方で薩摩藩制下に置かれた時代もあることから、大和言葉と琉球言語が相混じった特徴を持ち、沖縄でもなく鹿児島でもない独特の言語と認定されています。

奄美群島には、奄美大島（加計呂麻島・請島・与路島）喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島の八つ島があります。奄美方言を島口（シマグチ）と言いますが、それぞれの島ごとに異なります。さらに島内でも地域や各集落ごとに違いがあります。標準語とは全くかけ離れ、まるで外国語のような言語である奄美の「シマグチ」挨拶や頻度の高い表現は今でも多くの人に使われていますが、流暢に話せるのは、今やお年寄りやごく限られた人たちとなっているのが現状です。

そこで大切な方言である（シマグチ）を保存・伝承・普及しようと作られたのが「島口ラジオ体操」や島唄を通して唄者が子どもたちに教えたり、「島口教訓カレンダー」を学校に配布したり現在では学校での活動が主な主な伝承の場になりつつあります。本校でも、毎日の「島口教訓カレンダー」の暗記や学習発表会での「島口劇」に毎年挑戦しています。

## 教育長訪問



2月6日(火)、学期に一度の町教育長の訪問がありました。

訪問を通じて、与路小中学校の教育環境が整っている、子供たちは人数は少なくても一生懸命成長しようとしているなど、子供たち・職員の取組に対して、過分な励ましをいただきました。

その日は、あいにくの荒天のため、海上コンディションが悪かったのですが、なんとかお越しいただくことができました。遠路ありがとうございます。

## 食に関する学習

1月29日(月)、町役場から西田めぐみ先生を講師としてお招きし、食に関する学習を行いました。バランスの取れた食生活の大切さを学ぶとともに、健康料理の作り方などを紹介していただきました。



## 子どもサミット

2月4日(日)、町の子どもサミットがきゅらしま交流館で行われ、本校からは、小学6年生の駿さんが代表として出席しました。

各学校から集まった児童生徒と一緒に、瀬戸内町を住みたい街、もっといい街にするにはどうすればいいかを子ども視点で考え、町作りへの参画意識が高まるよい機会になりました。



## 心の教育講演会

2月13日(火)、与路出身の向野忍さんを講師としてお招きし、講演会を実施しました。

講演では、向野さんの子どもの頃の与路島や与路小中学校の話などが紹介され、島を卒業で離れる中学生にとって、生き方を考えるとても意義深い時間となりました。



## おもな3月の行事

- 5 (火) 公立高校入試（～6日）
- 9 (土) ふれあい活動 与路映画祭
- 12 (火) 卒業式
- 22 (金) 与路地区教職員送別会
- 26 (月) 修了式